



健全な水と環境を次世代に引き継ぐ

---



2022年12月期  
第2四半期 **決算説明会**

# 目次



01

2022年12月期第2四半期決算概要

02

2022年12月期通期見通し

03

次世代型インフラマネジメント

04

環境課題の取り組み

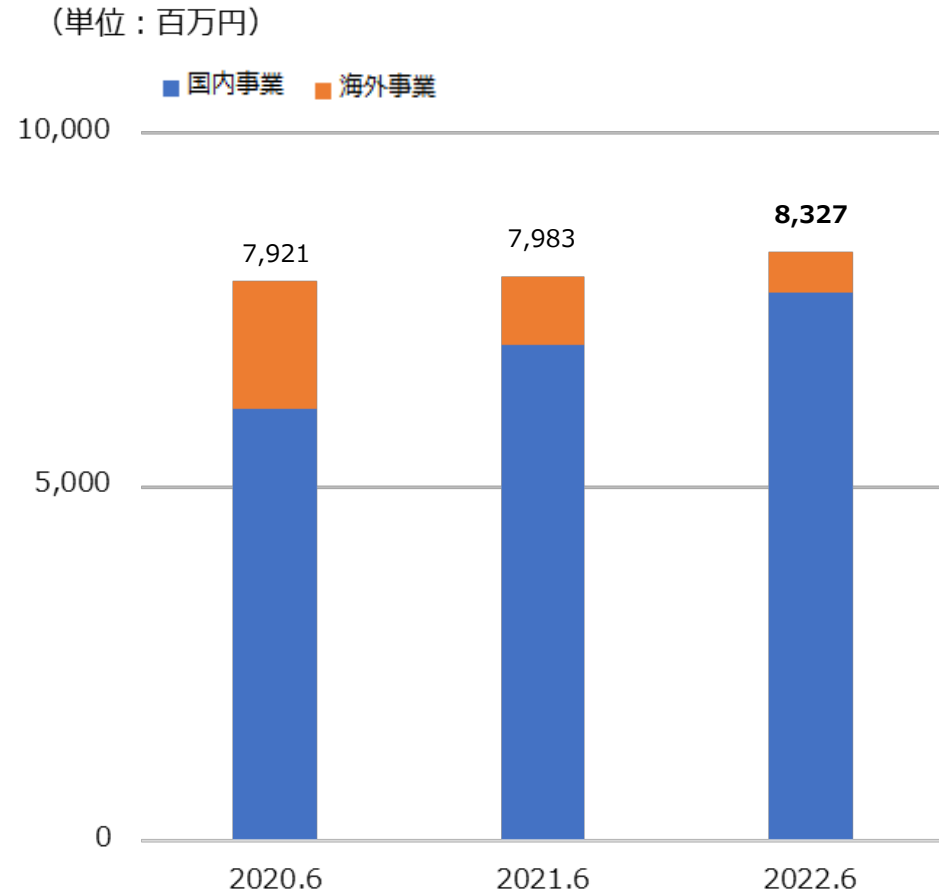
05

中間配当・PLAN2030

01

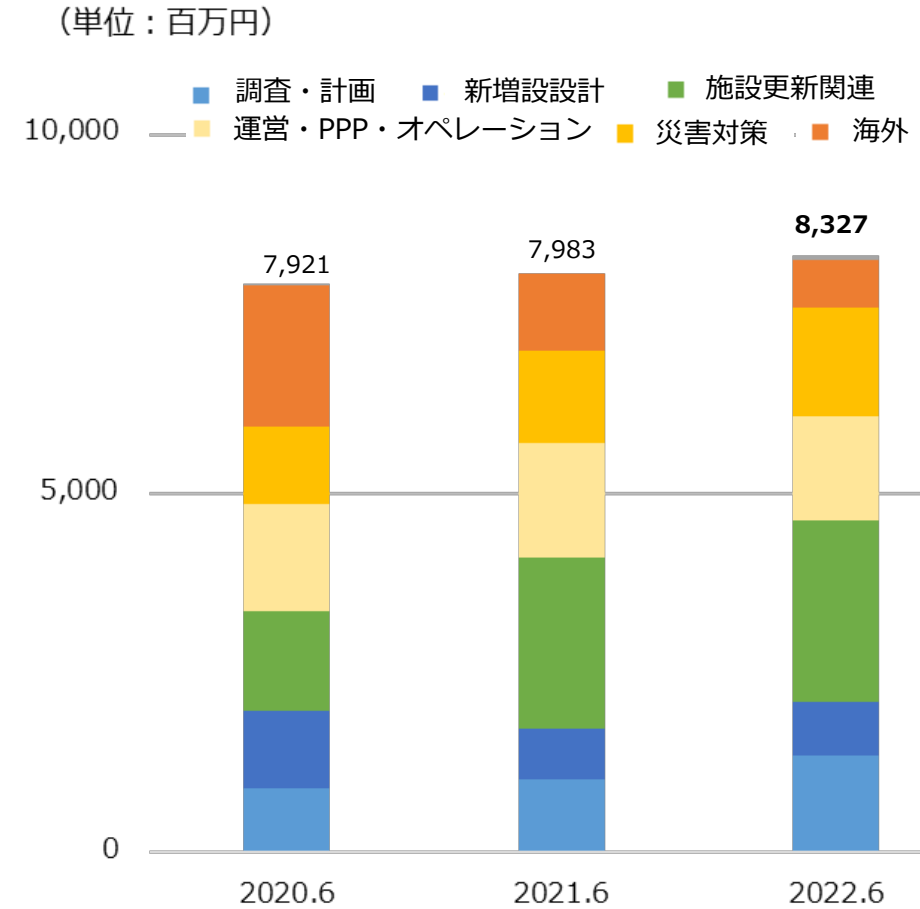
# 2022年12月期第2四半期 決算概要

## セグメント別



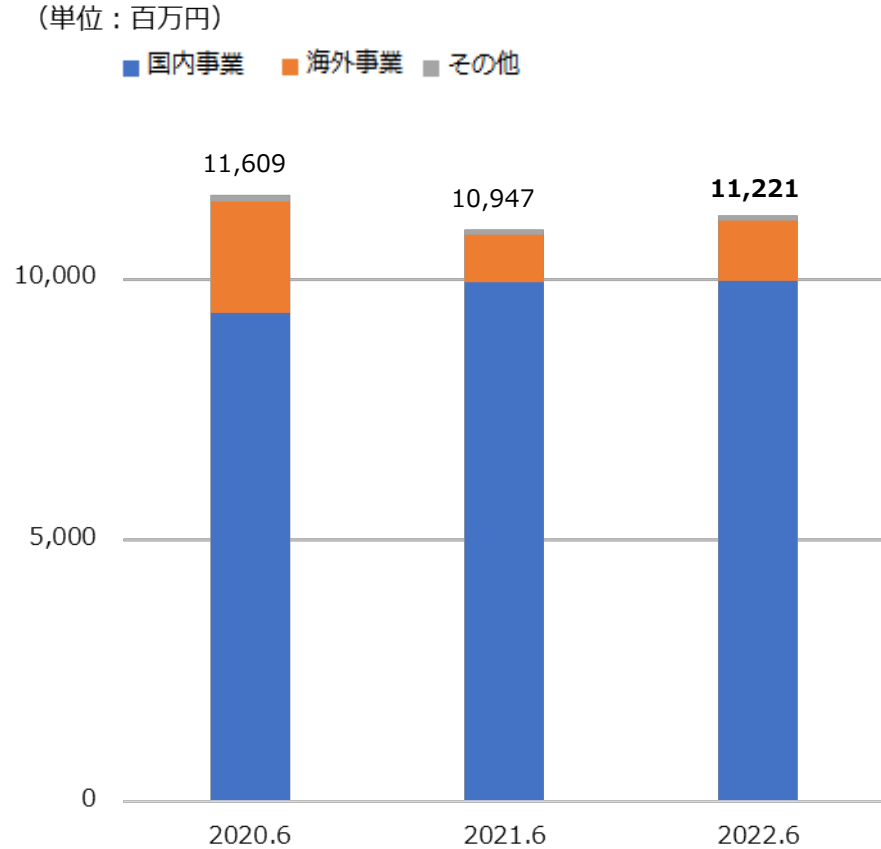
国内業務の伸長により受注高は前年同期比で+4.3%増の83.3億円

## 分野別



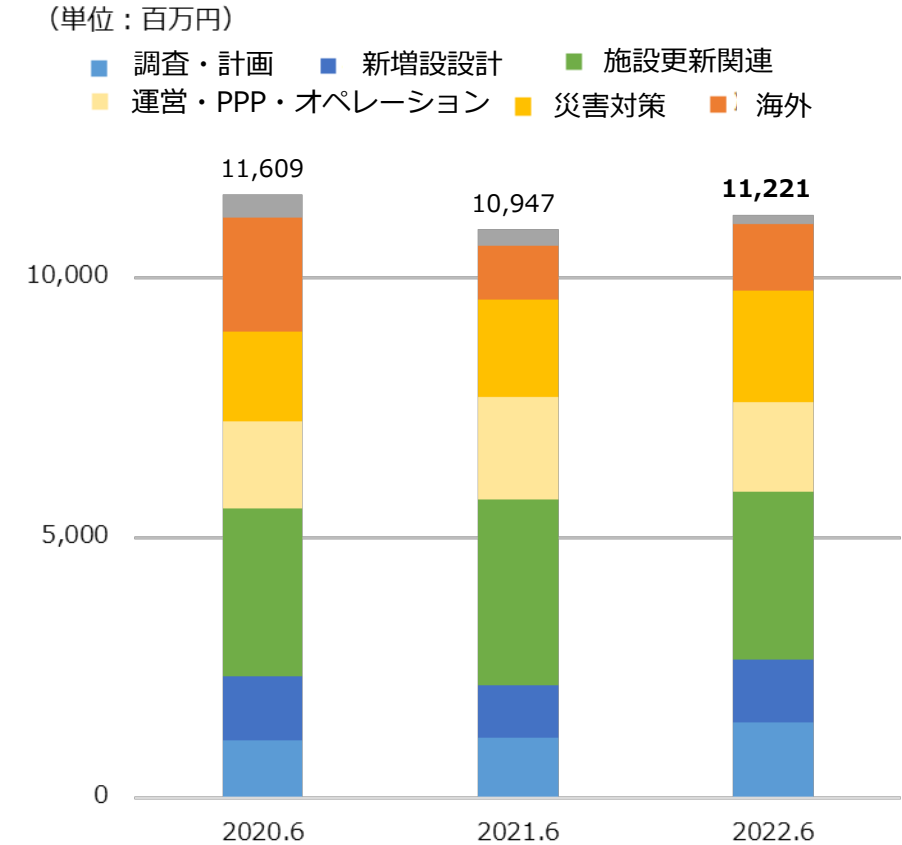
分野別では、調査・計画（インスペクション等）改築更新、災害対策等の業務が増加

## セグメント別



国内業務・海外業務共に堅調に推移し、  
全体では、前期比+2.5%の112.2億円

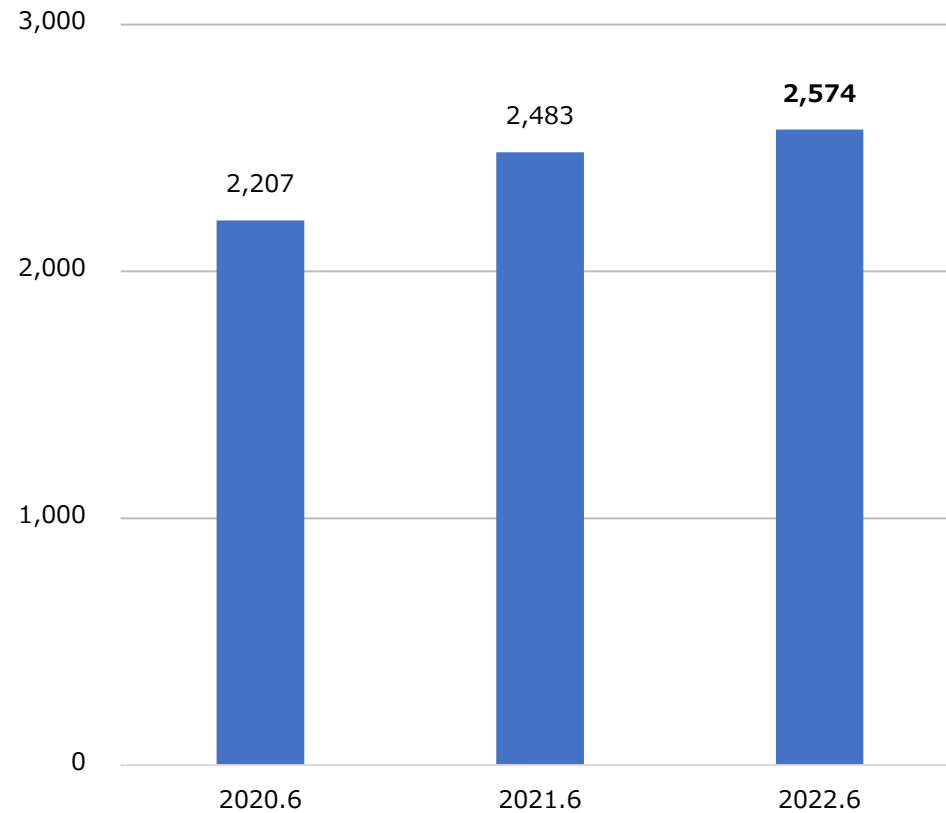
## 分野別



分野別では、調査・計画業務、災害対策業務が増加

(単位：百万円)

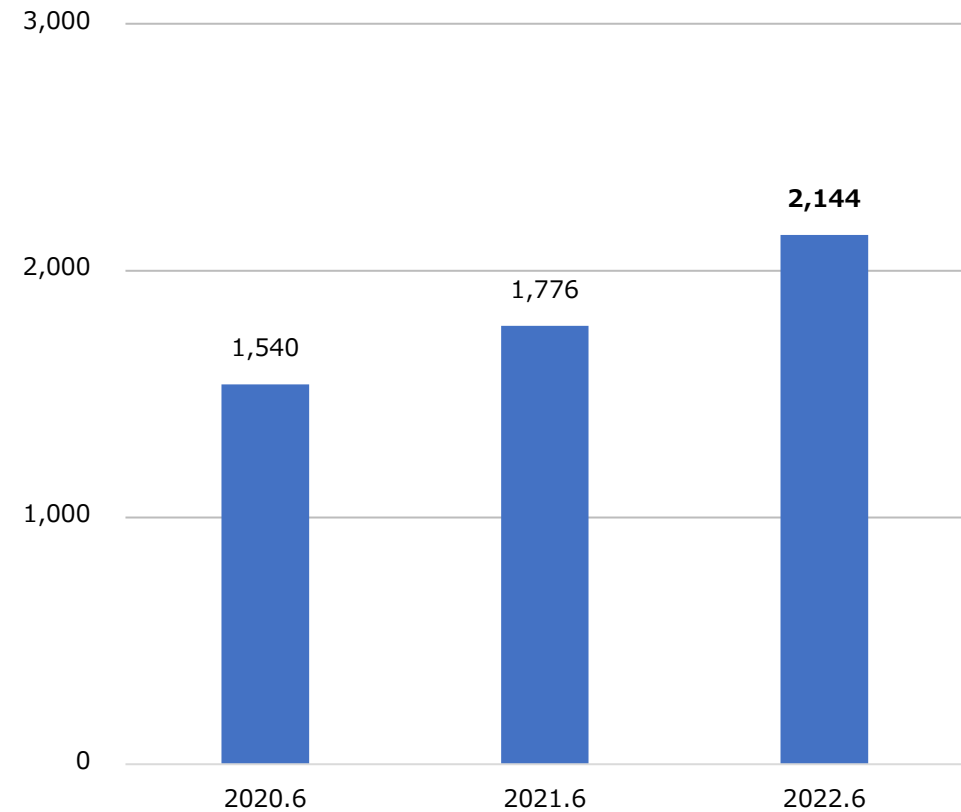
## 営業利益



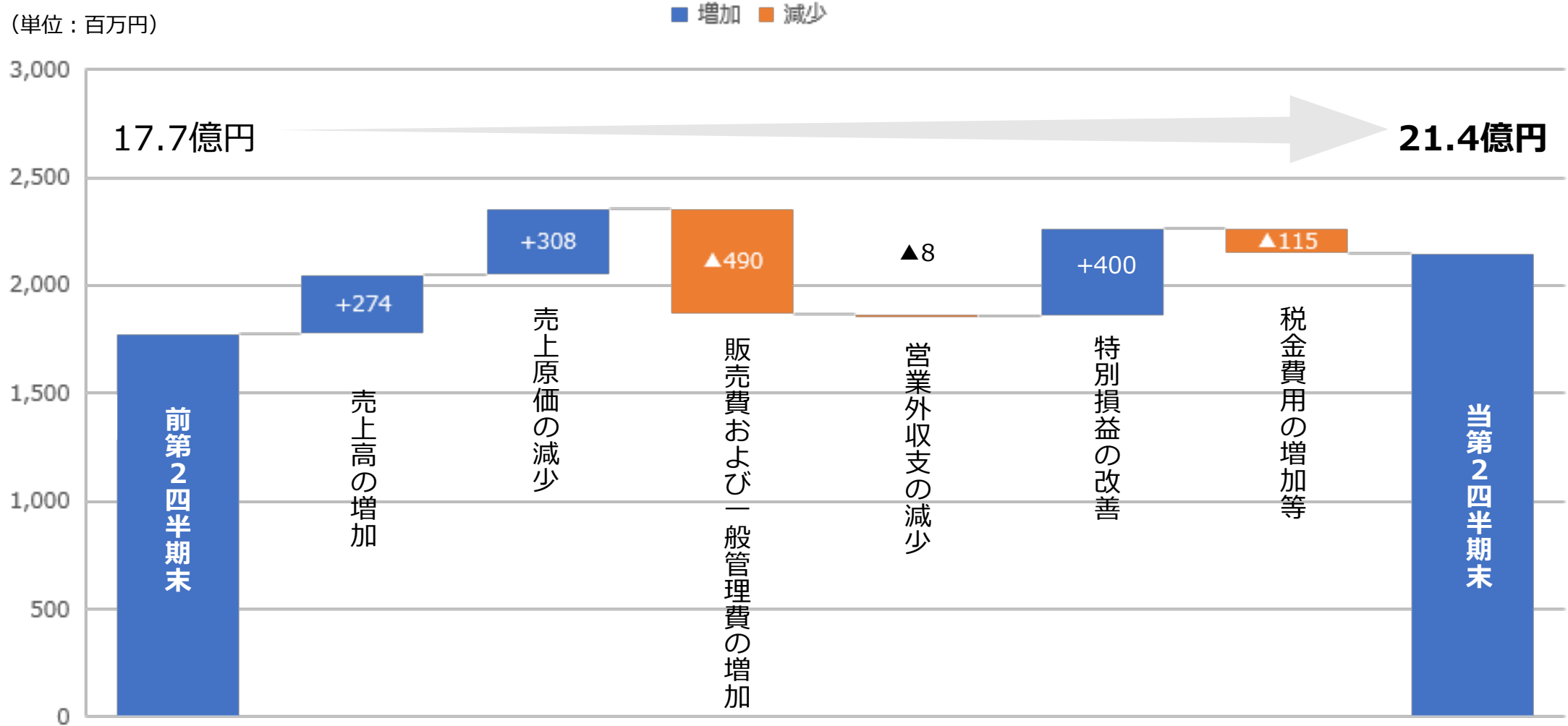
国内業務においてhis、FINDi等のグループ企業設立による内製化により営業利益は増加

(単位：百万円)

## 純利益



営業利益の増加に加えて特別利益の計上により純利益も前期比増加



国内業務の伸長が売上高を伸ばし、特別利益による利益増で純利益は約3.7億円の増加

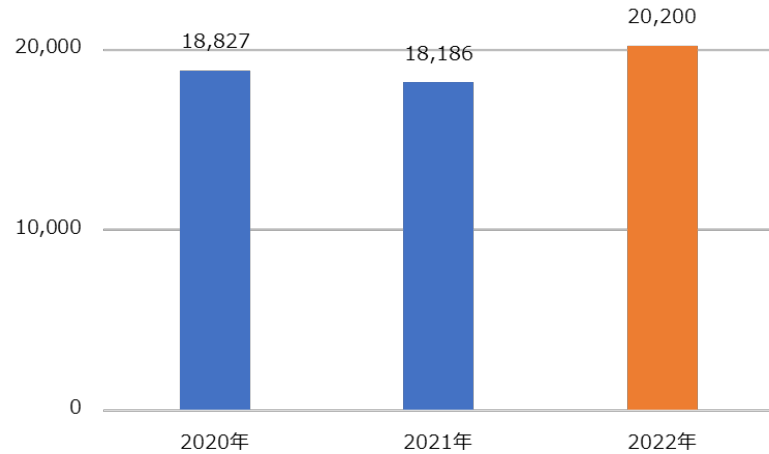
02

# 2022年12月期通期見通し



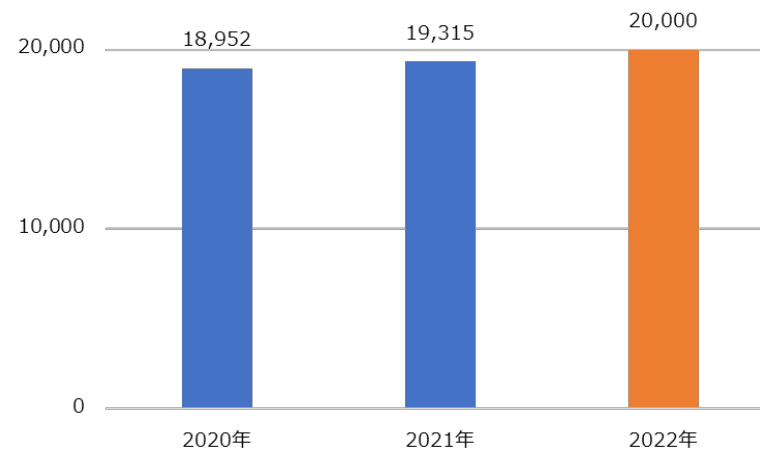
(単位：百万円)

## 受注高



(単位：百万円)

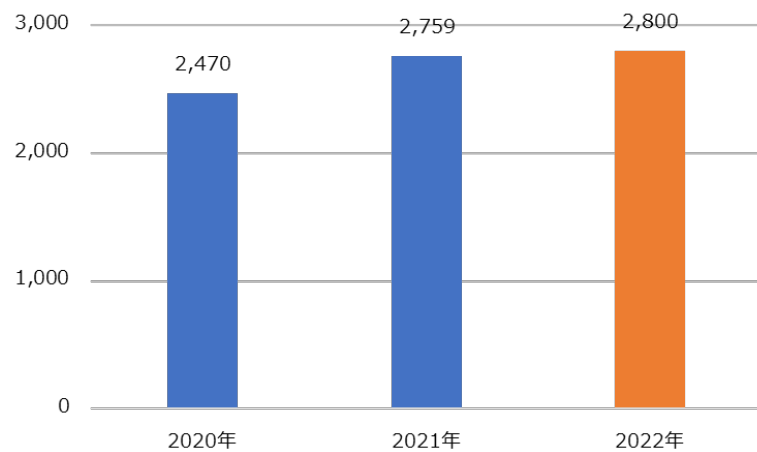
## 売上高



2022年2月に公表した  
通期業績見通しから変更なし

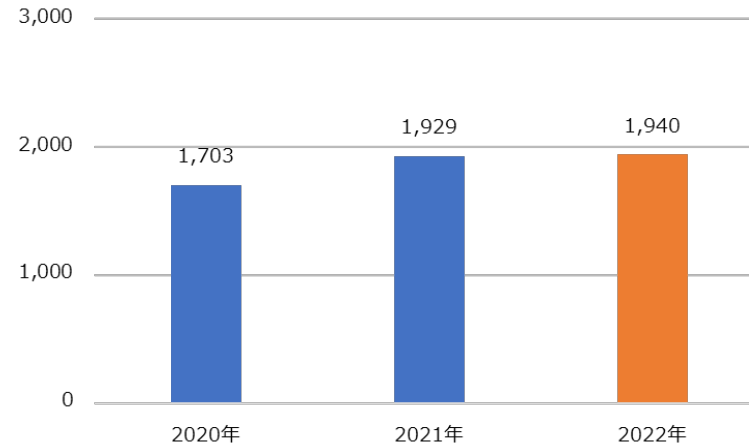
(単位：百万円)

## 営業利益



(単位：百万円)

## 純利益



## Point①

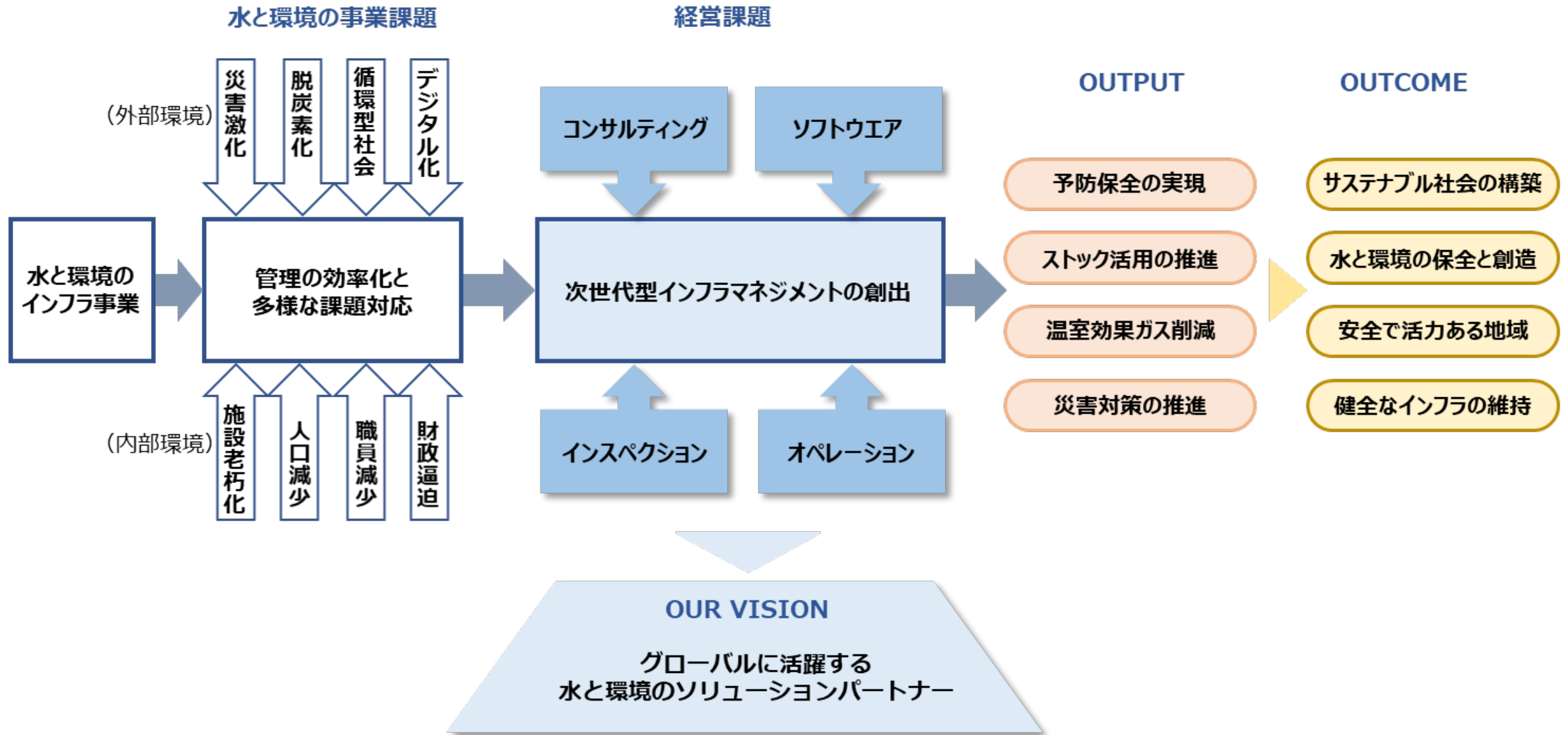
施設更新関連業務、災害対策業務  
の拡大により受注高は前期比11%  
増、売上高は同3.5%増

## Point②

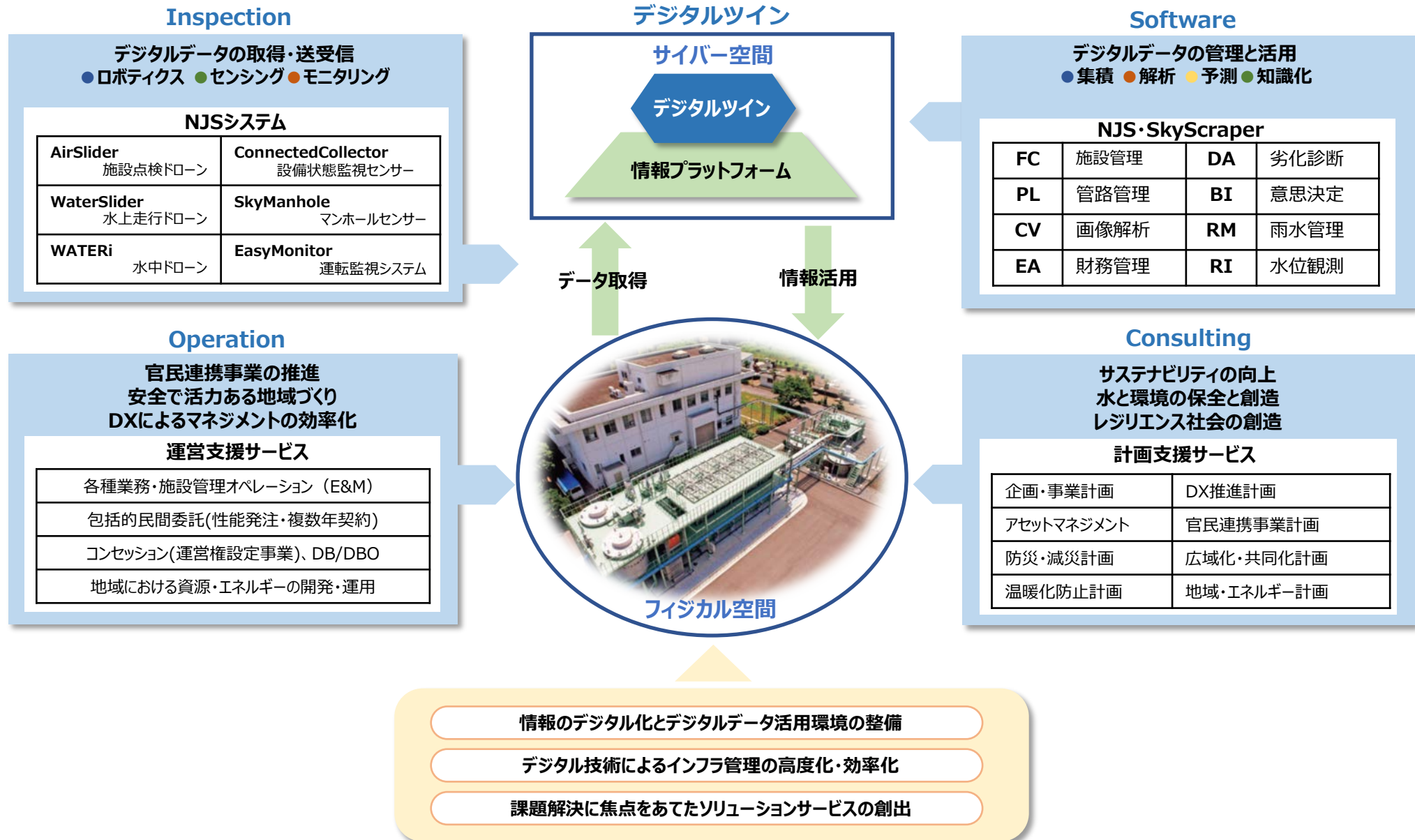
利益面では過去最高益となった  
前年を上回る見通し

# 03

## 次世代型インフラマネジメント

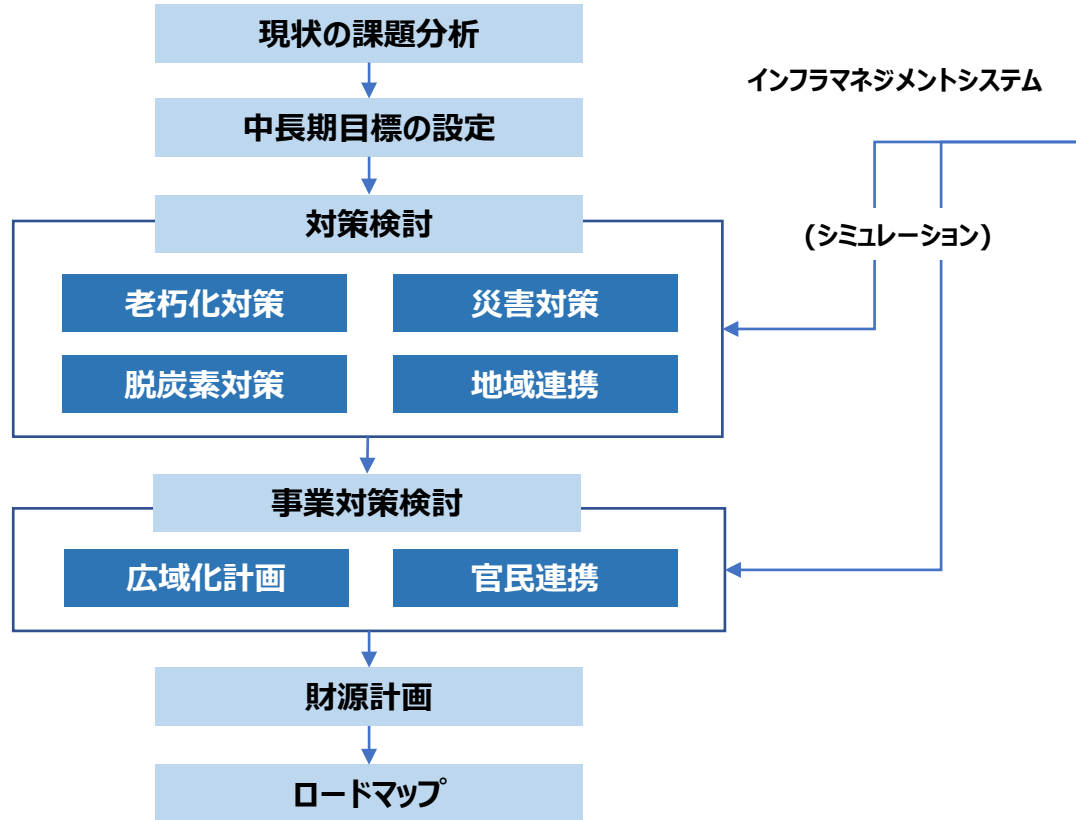


# 次世代型インフラマネジメント



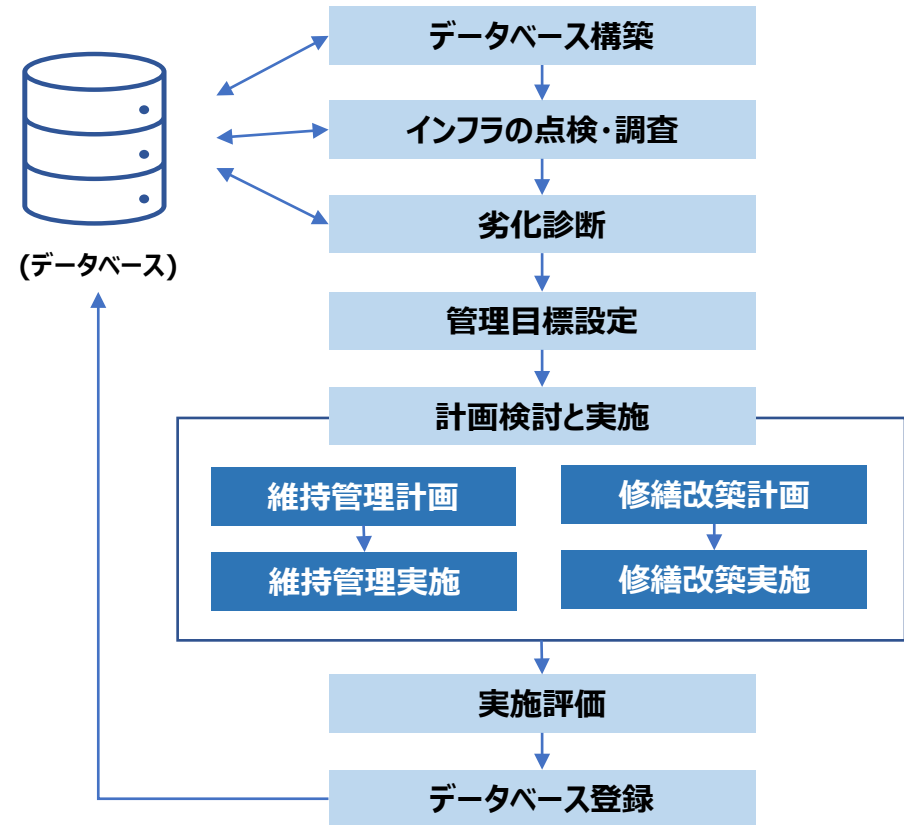
## 調査・計画

- ◆ 水と環境のインフラの課題を分析し、対策をフルサポート
- ◆ 技術的な検討に加え、事業手法検討、財源計画も提案



## 改築・更新

- ◆ 老朽化施設の最適な改築更新計画策定と効率的実施をサポート
- ◆ 施設データベースの導入と運用により生産性向上



インフラマネジメントの全分野をカバーするラインアップ

- ◆ クラウド型インフラ統合管理システムSkyScraperを展開
- ◆ ライフサイクルを通じたインフラマネジメントのDXを推進



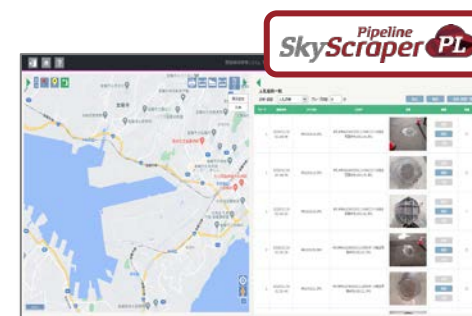
施設情報、災害対策、運転管理、運営管理の幅広い情報を一元管理

インフラマネジメントの高度化・効率化に対応する充実した機能

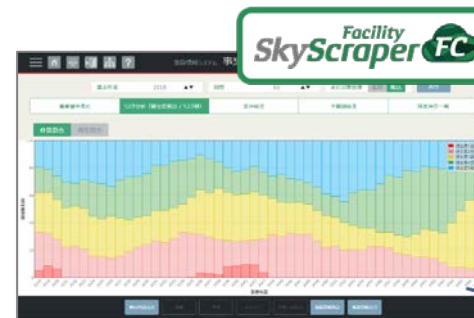
- ◆ 3Dモデル、位置情報等を活用し効率的な情報登録を支援
- ◆ AI・IoT等の最新技術を活用した各種シミュレーション



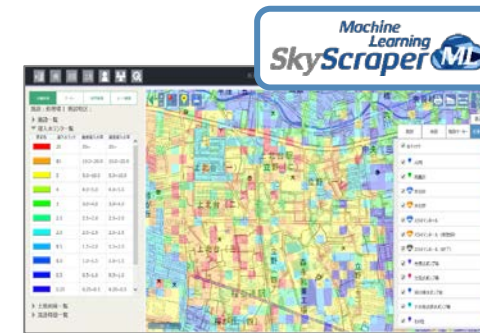
ストリートビューや3Dと連携



点検画像と地図データ連携



改築更新事業量予測



AIによる浸水予測

## ドローンインスペクションサービス

- ◆ 効率的かつ安全な点検調査技術の開発により老朽化対策を推進
- ◆ 当第2四半期で水上走行式ドローン・水中ドローンを開発

### AirSlider Fi4

管路内飛行式ドローン



### AirSlider Fi5

施設点検用ドローン



### Water Slider

水上走行式ドローン

New



### WATERi

水中ドローン

New



従来点検不可能な場所の点検を可能に

## IoTセンサーによる水位観測・設備機能劣化診断

- ◆ 水位観測：浸水被害を監視しDXによる災害対策を推進
- ◆ 機能劣化診断：振動解析により設備の異常を早期検知

### SkyManhole

IoT水位観測システム



浸水時避難情報の早期発出等

### ConnctedCollector

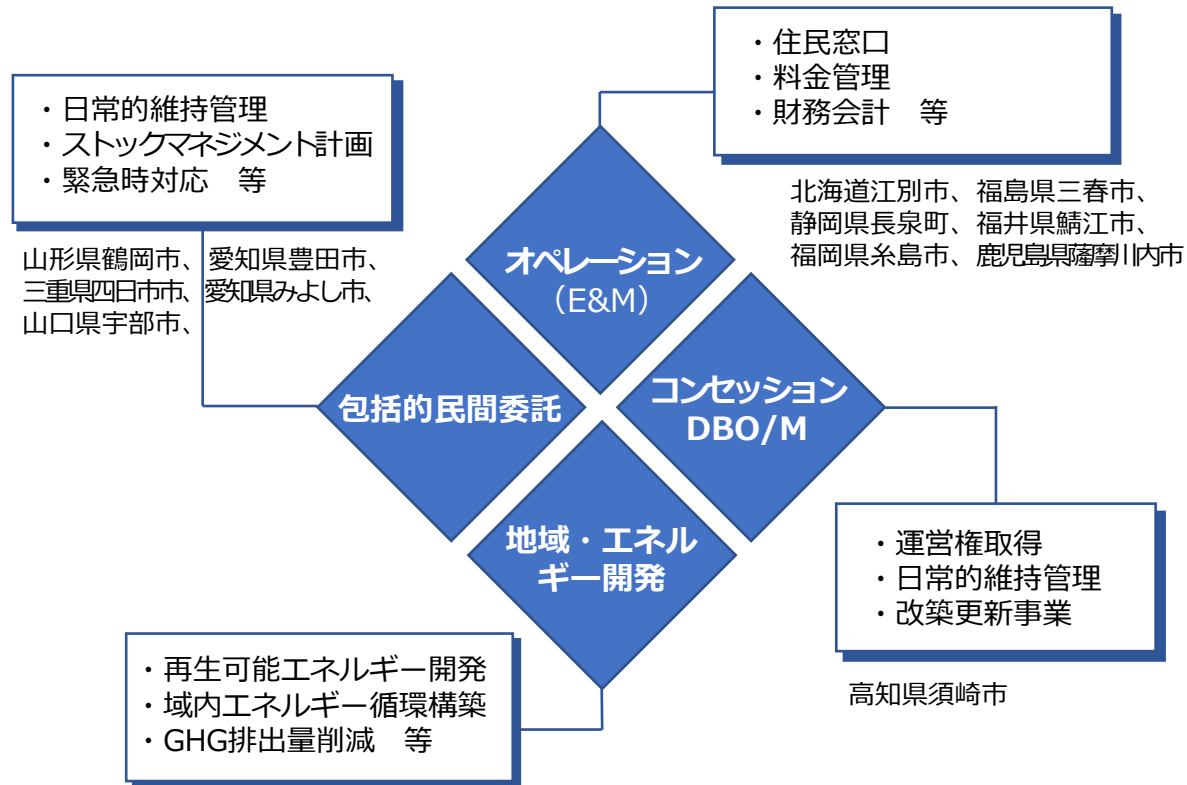
IoT設備機能劣化診断



低回転設備の異常を早期検知

## 官民連携事業の推進

- ◆ 多様な形態で官民連携事業を展開し地域のニーズに対応
- ◆ 持続可能なインフラサービスと活力ある地域づくりを実現



## 安全で活力ある地域づくり

- ◆ 地域に根差したサービスによりインフラマネジメント推進
- ◆ 施設管理・人材育成・環境保全によりサステナビリティ向上

### 次世代型インフラソリューションの創出

管理運営の高度化

施設管理の効率化

地域との連携強化

地域インフラの健全性維持

地域人材の育成と開発

地域の衛生・安全・環境保全

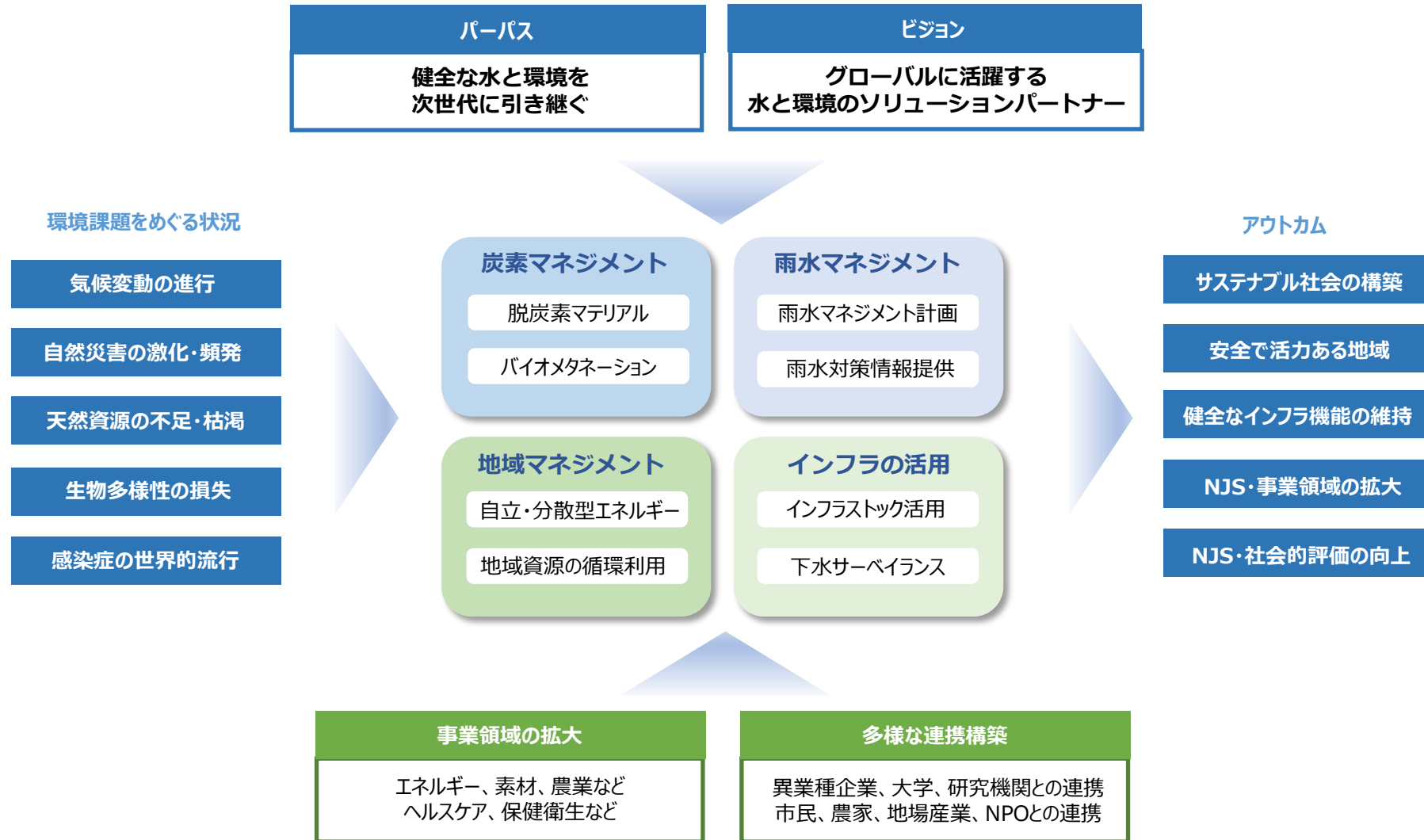




# 04

## 環境課題の取り組み

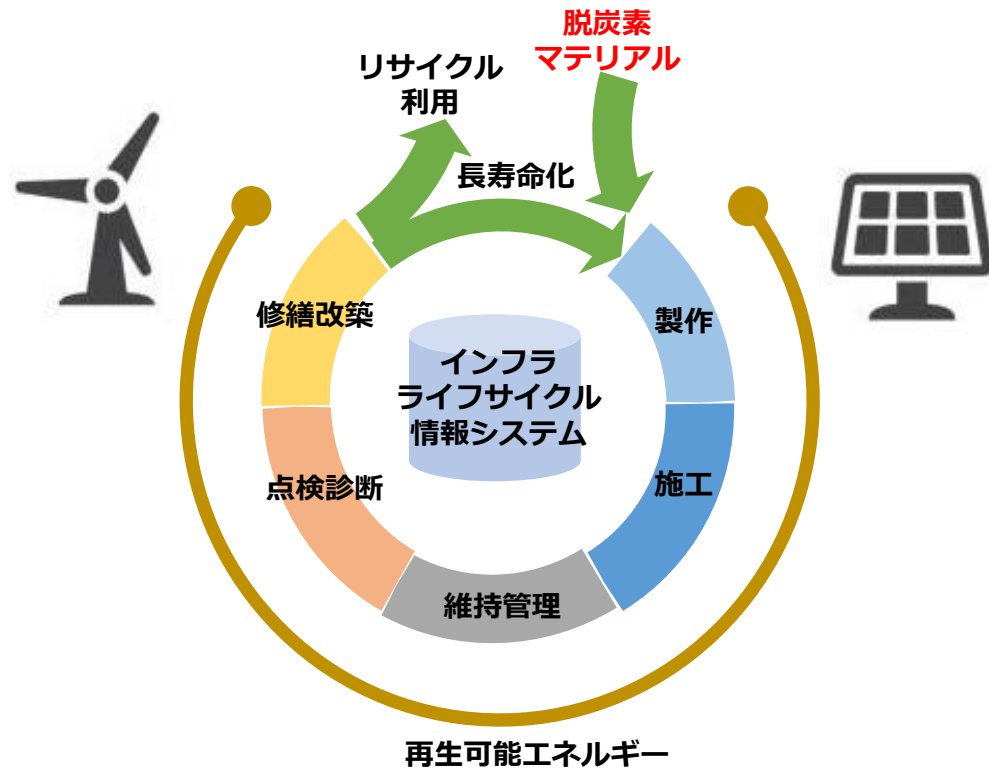
# 環境課題の取り組み



環境課題に対応するマテリアリティ

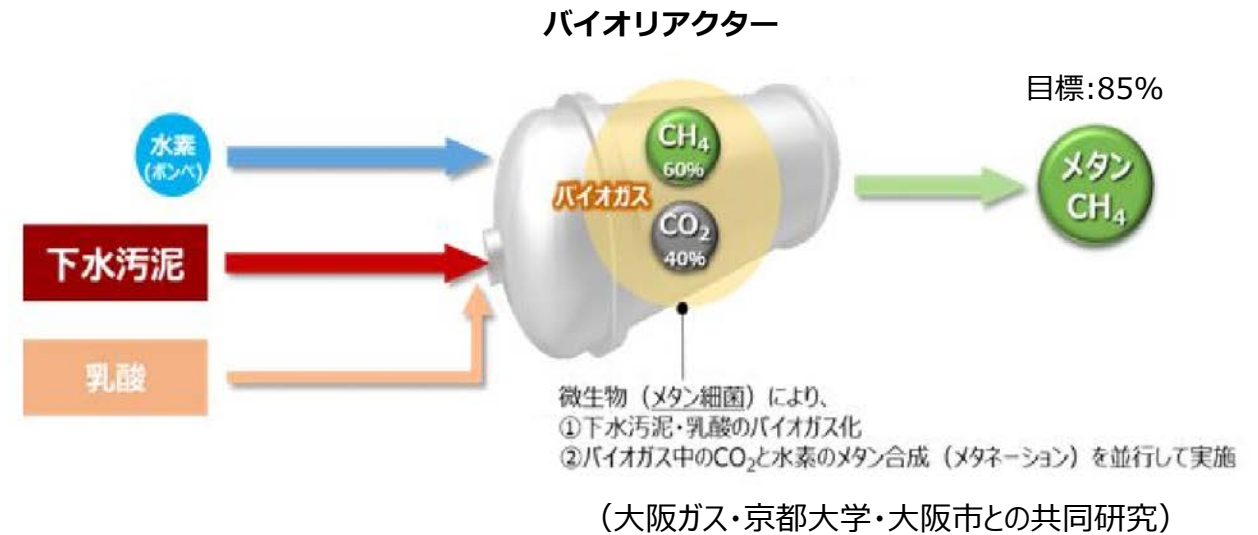
## 脱炭素マテリアル

コンフロンティア(株)の低炭素マテリアル開発を推進する  
(低炭素コンクリート、CO2吸収コンクリート)



## バイオメタネーション

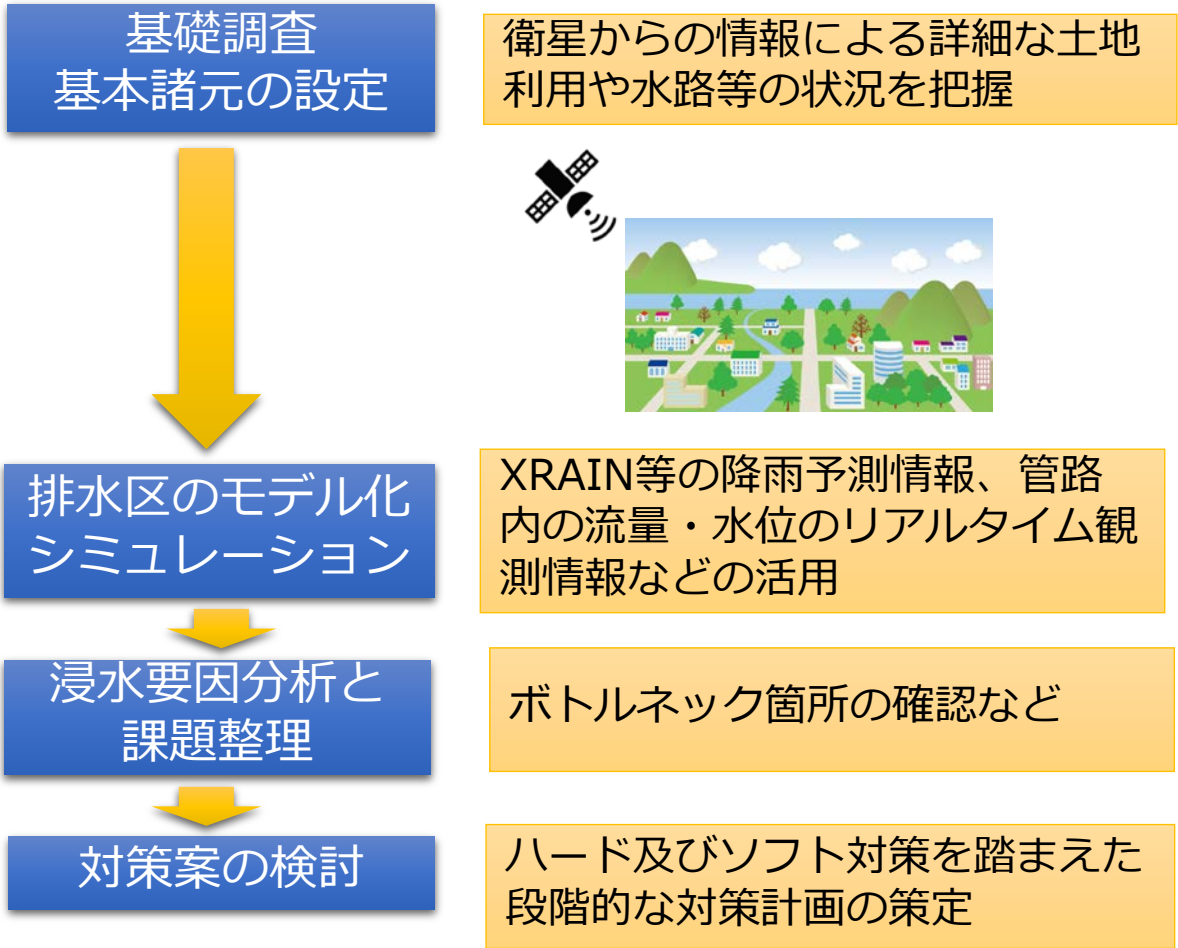
下水汚泥を利用したメタネーションの技術開発を推進する



- ・水素の吹き込みにより、メタン濃度を都市ガスに近い85%以上に向上
- ・乳酸の添加により、ガス量も3倍程度に増加
- ・将来的には太陽光発電等、再エネ由来のグリーン水素および廃プラから回収した乳酸を使用

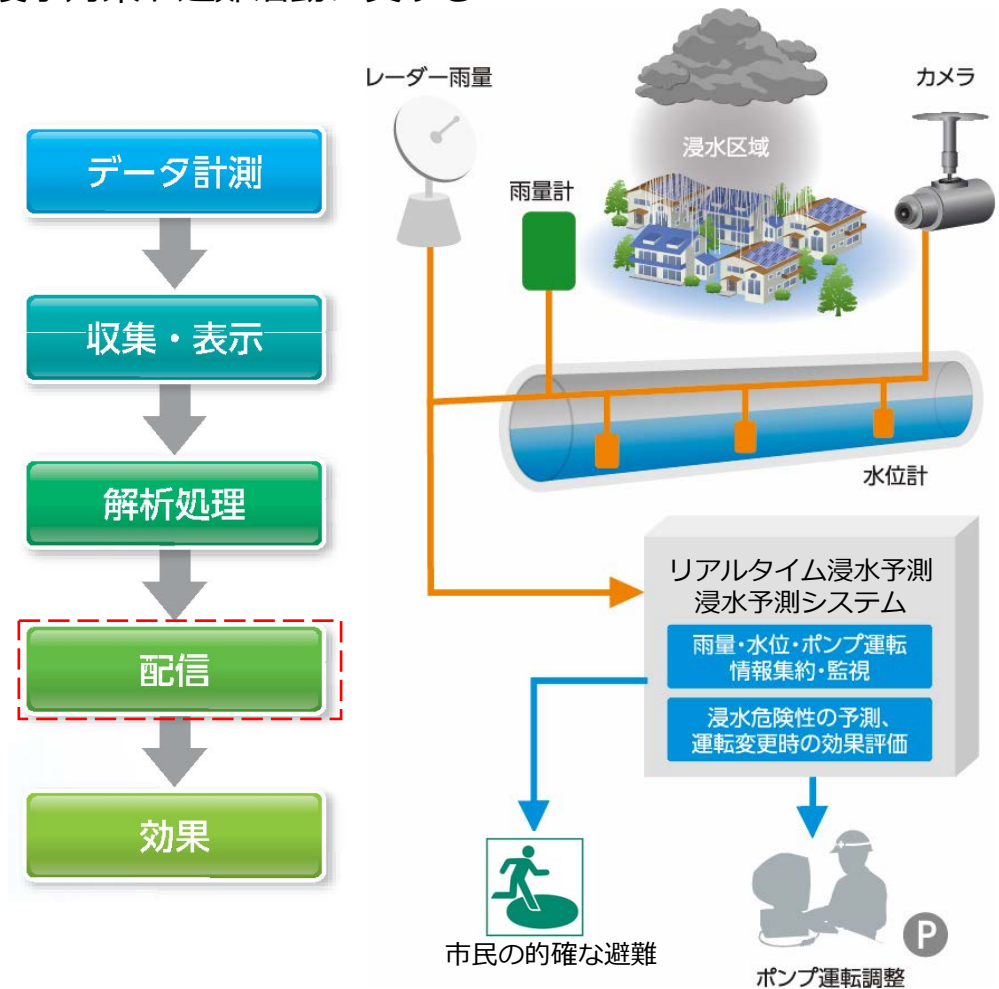
## 雨水マネジメント計画

降雨データや衛星データによる高精度の浸水シミュレーションにより、実効性の高い浸水対策および雨水マネジメント計画を策定する



## 雨水対策情報提供

浸水予測情報や水位情報をリアルタイムで管理者や市民に提供し、浸水対策や避難活動に資する

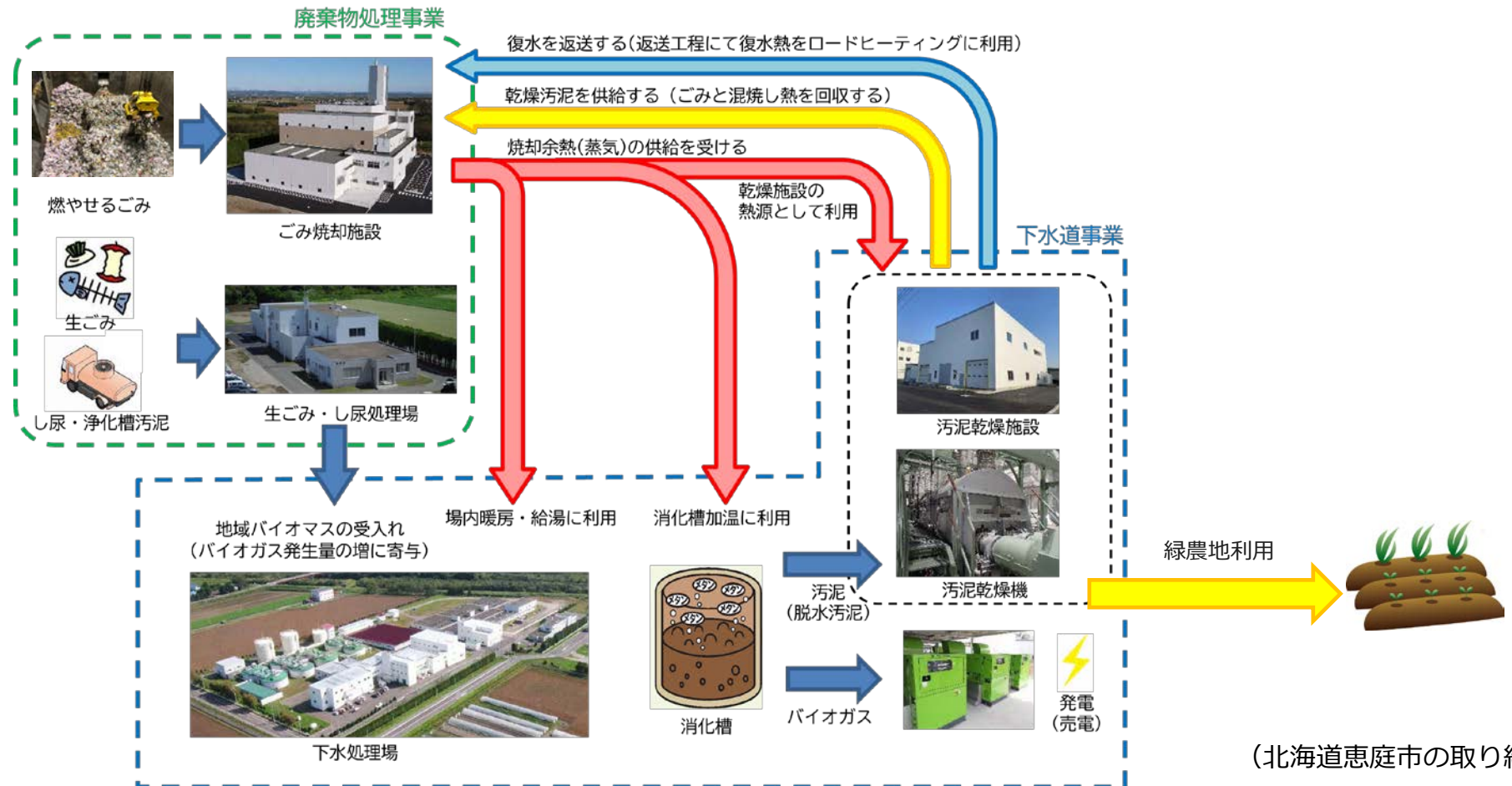


## 自立分散型エネルギー

下水中の化学エネルギーの回収や再生可能エネルギーの活用により、  
地域における自立・分散型エネルギーシステムを形成する

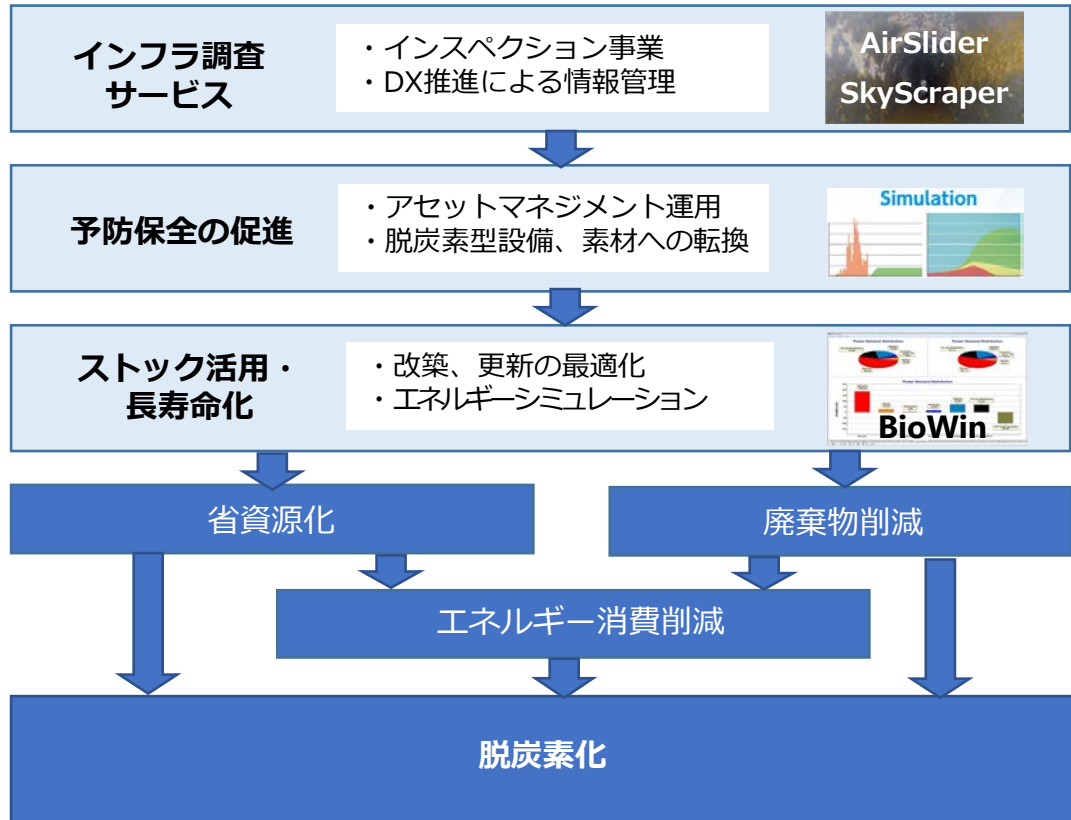
## 地域資源の循環利用

下水汚泥等の緑農地利用を推進して、  
地域バイオマスの窒素・リンなどの循環利用を図る



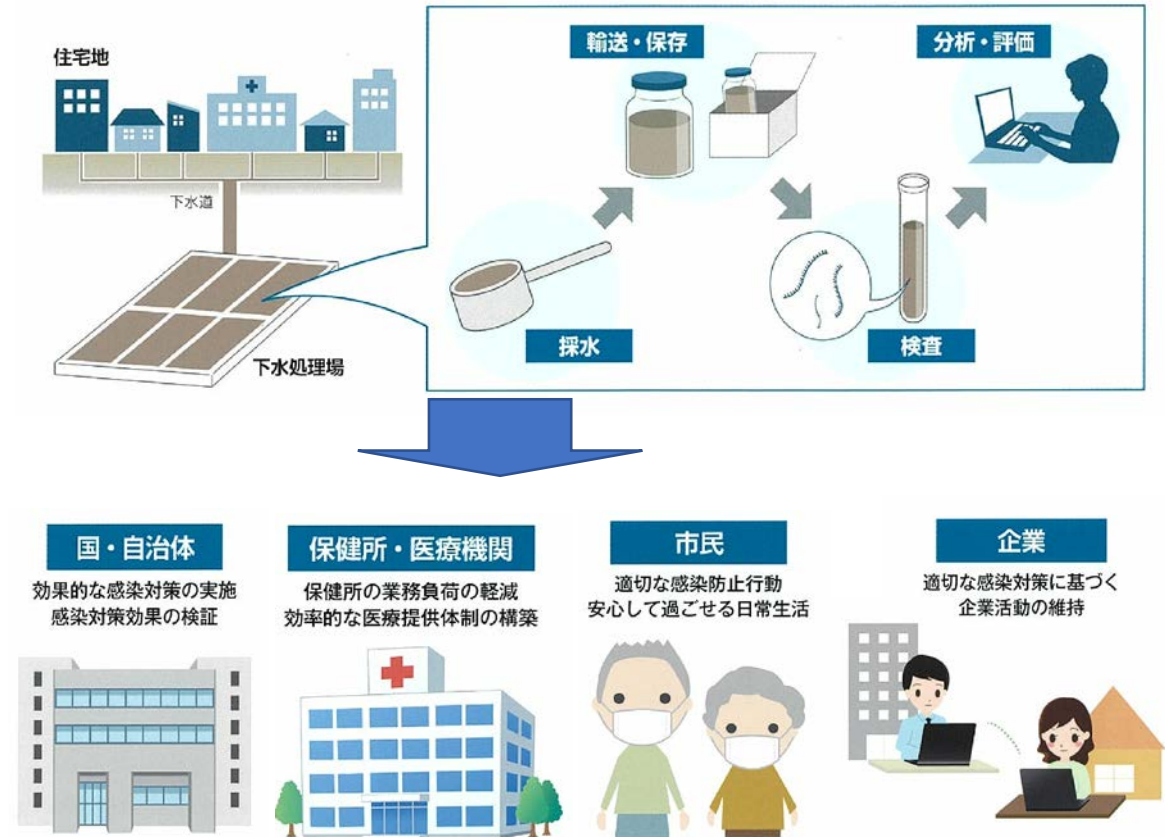
## インフラストック活用

インフラマネジメントを通じて、予防保全、ストック活用、GHG 排出削減を推進する



## 下水サーベイランス

下水サーベイランスの社会実装により、地域の感染状況を集団レベルで把握し、感染対策に寄与する



05

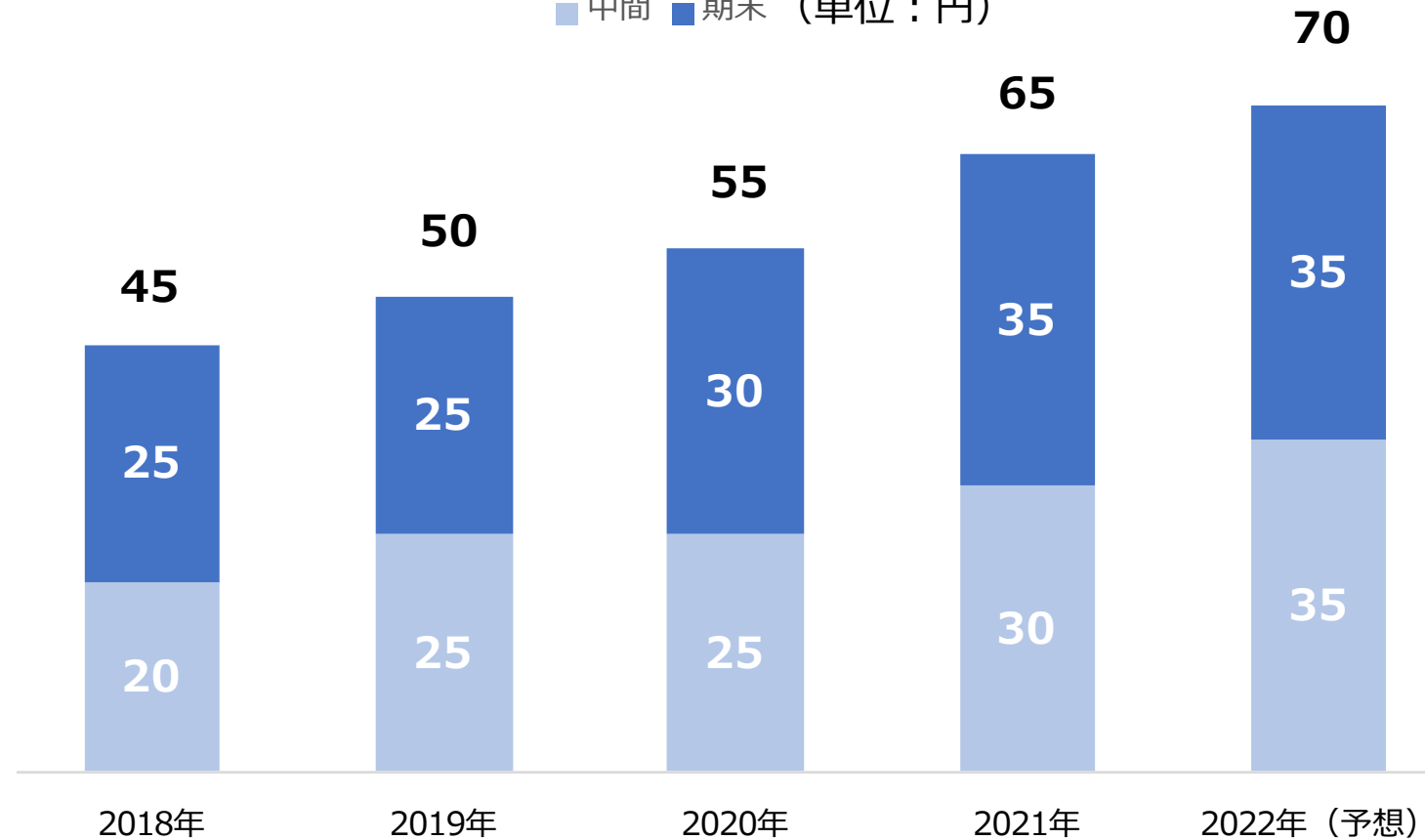
# 中間配当 NJSグループ PLAN2030

● 2022年12月期の中間期末配当は  
前期比**+5円/株**の35円

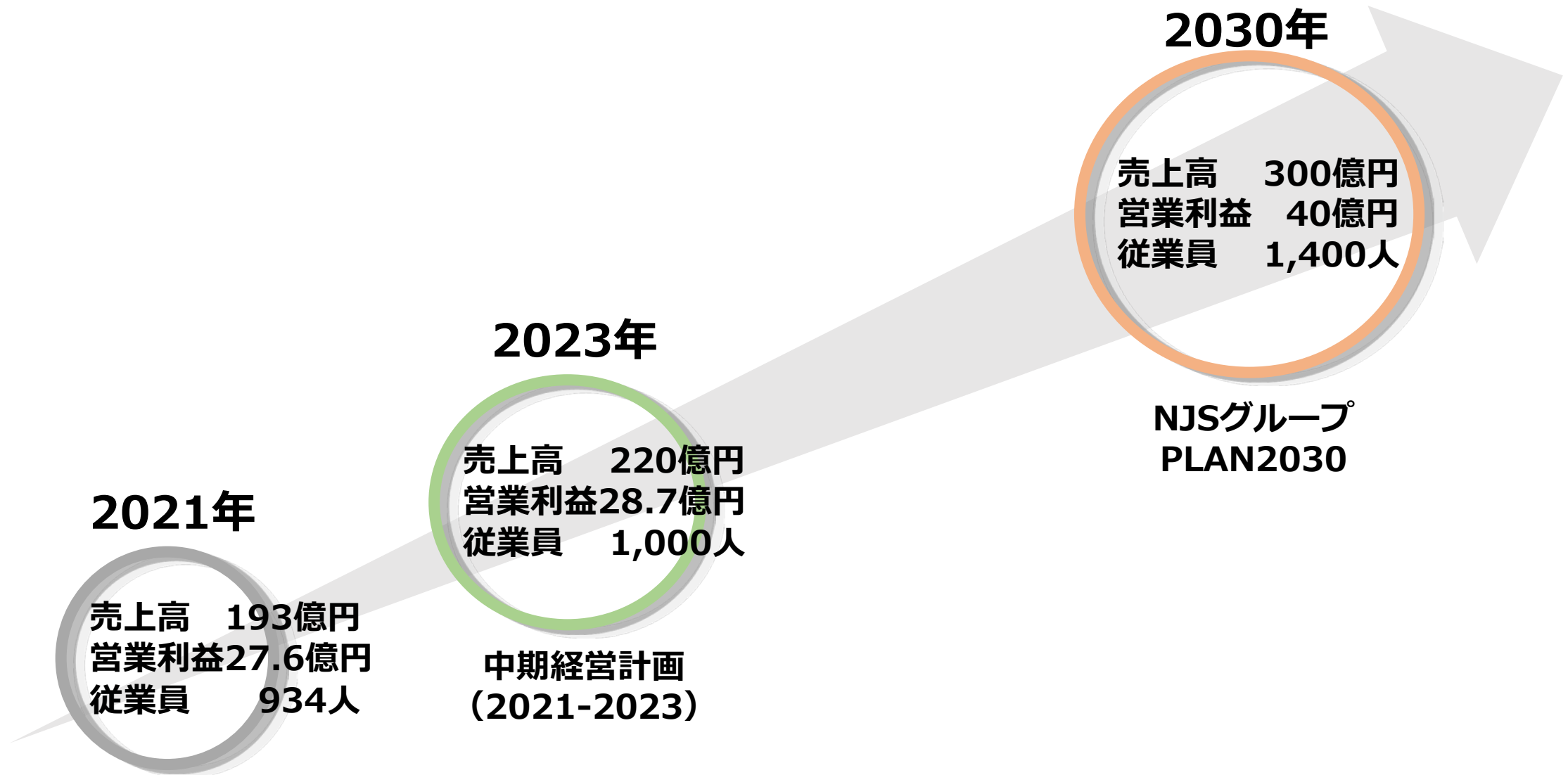
● 2022年12月期通期配当予想  
前期比**+5円/株**の70円  
(中間35円/株、期末35円/株)

## 1株当たり配当金

■ 中間 ■ 期末 (単位:円)







# ご清聴ありがとうございました

æNJS

## 免責事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。  
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 質疑応答中

オンライン参加の方のご質問は  
ZoomのQ&A機能にてお送り下さい



# 決算説明会は終了いたしました

æNJS

お問い合わせ先

株式会社NJS 企画広報室

✉ [njs\\_corporate@njs.co.jp](mailto:njs_corporate@njs.co.jp)